



SINCE 1987

2015~2016  
Activity

Soroptimist International Nara-Heijyo

# CLUB REPORT

国際ソロプチミスト奈良-平城

地域社会と世界中で女性と女児の生活を向上させる

<http://nara-heijyo.networknara.com/>



女性の輝く社会を  
を目指して



2016年度 新理事会メンバー

## ごあいさつ

会長 植村 榮子



今年は我が国にソロプチミストクラブが設立されて56年。多くの女性たちの生活を向上させる活動にかかわり、1986年に兵庫県から静岡県に至る2府12県のリジョンにより「国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン」が誕生しました。本年30周年の節目を迎え、30周年記念式典及び記念奉仕事業、リジョン大会が盛大に開催されました。日本中央リジョン決議文『女性の地位向上と社会進出をめざして』一女性と女児の教育の必要性を広く知らせよう一が採択されました。

6月26日には記念事業として「30周年記念シンポジウムが上野千鶴子氏の基調講演「女性活躍社会」の条件と題し開催、今後の課題が多く見えてまいりました。

クラブでは2015年度リジョンガバナーの指針であります“夢を実現しよう”女性と女児の輝く未来を!生活向上に向けた教育プロジェクトを軸としたアメリカ連盟の“夢を生きる、夢を拓く”スローガンの重要プログラムがスタートされ、まさに夢を実現という活動に取り組むことになりました。

全ての継続事業の観点をしつかりと見直し

て少しでもソロプチミストの根幹から外れる事なく有意義な奉仕活動を進めたいと心に誓いました。

11月には「夢を生きる賞」にご応募いただきました介護福祉士を目指す福澤エリ慶子様にクラブ賞を。2月プログラム例会にはドメスティック・バイオレンスの被害の現状について、奈良中央こども家庭相談センター所長 笹川宏樹氏の卓話。なくなることのないDV被害者に「国際ソロプチミスト奈良一平城慈善基金」の支援活動を再確認いたしました。

5月には熊本大災害の支援金をお届けする事が出来1日も早い復興をお祈りしました。

6月にはΣクラブ・Sクラブの3校に支援金を贈呈。若い人たちの地域での有意義な奉仕活動に感謝です。

2017年クラブは30周年を迎えます。より一層の奉仕の和、クラブ会員の友情の和をより大きく“奉仕事業”的花が開花することを願っております。会長としての、大きな任務はとても不安とプレッシャー一杯でございました。理事会メンバーの皆様、先輩やクラブ会員の皆様方の大きな友情とお力添に感謝とお礼を申し上げ一年間本当にありがとうございました。

皆様方のご健康とソロプチミスト奈良一平城の限りないご発展を祈願申し上げてご挨拶とさせていただきます。

## CLUB REPORT

News Letter No.16  
(2016.7)

承認 1987年9月19日  
例会日 每月第3木曜日  
例会場 奈良ホテル  
〒630-8301  
奈良市高畠町1096  
0742-26-3000  
会長 植村 榮子

## 国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョン

### 30周年 記念式典 記念シンポジウム開催

4月25日、26日に30周年記念式典・晩餐会・第30回リジョン大会が開催されました。式典では各界各位、連盟会長などがご臨席され、裏千家大宗匠 千玄室様の記念講演「世界に和を みんな一緒に」が行われ、格調高く世界の平和を唱われました。

30周年記念奉仕先は「大阪赤十字病院 国際医療救援部」「一般財団法人 日本こども財団」「特定非営利活動法人 日本ネパール女性教育協会」「公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン」へと贈呈されました。

第30回リジョン大会では、『女性の地位向上と社会進出を目指して!』—女性と女児の教育の必要性を広く知らせよう—と決議され、われわれソロプチミストは基本理念「女性と女児の生活向上」の夢を確実に実現させるため、地域に密着し、地球の人々と大きく手を携えて奉仕活動を続ける大切さを心に誓いました。



### SI奈良一平城賞を授与

11月26日

第11回 国の天然記念物「奈良のシカ」保護啓発ポスターコンクールの表彰式が奈良県立図書情報館で開催されました。

人と野生動物の共存について考え、自然環境と文化財、そして春日大社の神の使いとして「神鹿」と認められ天然記念物である奈良の鹿の保護と愛護に関する意識啓発のコンクールです。

国際ソロプチミスト奈良一平城賞を奈良市的小学校4年生植松祐子さんに授与されました。



### 第17回 小・中・高校生の未来を考える集会に参加・支援

1月30日

奈良県の小、中、高生徒指導連絡会が、校種をこえて連携し保護者や関係機関とともに児童、生徒の健全育成を目指した集会で、長年支援している私たちも参加しました。

28年度「命を輝かそう、正しいこと、大切なことを考え方」をテーマに啓発標語・ポスターの入賞者の表彰式が行われ、実践報告として、「自分(=自他)を守る ノーチャイムによる学校生活」 自律と自立の力を見につける生徒を育てることを重点目標とし生徒自らが動くこと、実践することに気付く生徒を育てたいと熱い思いを語られました。

各校の連携の大切さを痛感し皆様の支援に対し感謝の意を述べられ、私たちも立派な活動に長年支援・参加できましたことをうれしく感じました。



## 女性の輝く社会を目指して

30年の節目 決意新たに



### 「女性と女児達のDV状況」

2月18日

**卓話** 2003年設立の「国際ソロプチミスト奈良一平城慈善基金」よりDV被害者の自立のために、例会ごとのささやかな募金による支援金を奈良県中央こども家庭相談センター 筒川宏樹所長に贈呈しました。

被害者を増えることはあっても益々複雑な被害状況をお聞きしました。

やむを得ない事情により生活の場を一時的に失った方や、緊急保護を要する配偶者からの暴力被害者を対象とした、一時的な保護の相談を行う

厳しい現実を、職員の方一人一人が、不安を取り除く努力をされ、大変な精神的なストレスに対応されている現状を知ることができました。

私たちの支援金も有意義にお役に立っていることが会員納得の卓話となり益々の支援の必要を痛感いたしました。



### 夢を生きる：女性のための教育・訓練賞

3月17日

2015年度 国際ソロプチミストアメリカ連盟 夢を生きる：女性のための教育・訓練賞の クラブ賞を介護福祉士をめざす福澤エリ慶子様に授与しました。

新しい人生の再出発の原動力として介護福祉士になることを選択し、施設利用者の方々のお役に立つような介護士を目指しておられます。



若い市民を育てることを使命として

## Σソサエティ・Sクラブの3クラブに 支援金贈呈

6月16日

6月例会では「今日の青少年は明日の市民」常に奉仕をめざす若い市民を育てることを使命として学生たちの地域社会への奉仕活動、2015年度の支援金贈呈式を行いました。

県立郡山高校家庭クラブSクラブ、奈良市立一条高等学校吹奏楽部Sクラブ、奈良女子大学わかつたけ会Σソサエティに植村栄子会長から手渡しました。

郡山高校の堀川忠道校長は多くの活動の一端である地元特産の金魚やサクラをデザインした箸袋の折り紙を保育園や敬老会で教えている活動を報告。

一条高校吹奏楽部の松田真保部長が創部60周年の記念公演や地域とのふれあいコンサート、豪キャンベラ親善演奏旅行などの活動を紹介。

### Sクラブ(高校生の奉仕グループ)

#### 県立郡山高等学校・家庭クラブ

本校家庭クラブは、高校生が取り組むことのできる社会参加活動を展開しており、地域での交流活動では、就園前の子どもから高齢の方まで、幅広い世代の方とともにっています。また、学校所在地である大和郡山市を象徴するものとして、親しまれている金魚や桜を取り入れた活動を行っています。

お手元にお配りいたしました金魚と桜の箸袋ですが、これは昨年度本校を卒業しました生徒がデザインや折り方を考案したもので、金魚の箸袋の方は「Kin ぴょん」という愛称で広めています。これを敬老会や保育園訪問などでお配りし、折り方講習会なども実施しています。

参加していただいた方々からは、「高校生と話をしながら作ることができて本当によかったです」と好評を得ています。本校生徒と地域の方が大和郡山の良さを見直すきっかけとなり、地域との絆を深めることに貢献していると思っています。

また、ペットボトルキャップ回収運動でも、ソロプチミストの会員の方々にもご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

今後も高校生が地域社会と「つながる」ことのでき



当クラブスponsership委員会よりボトルキャップを持参

### 2015年度 スポンサークラブの活動

奈良女子大学わかつたけ会、佐藤実於部長は「手をつなぐ親の会」を通した障害のある子どもたちへの支援活動を、各クラブとも今後とも地域との絆をより強く素晴らしい活動を報告していただきました。



(当日活動報告より)

る取組を模索しながら、地域に愛される家庭クラブ活動をすすめていきたいと考えています。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。



金魚の箸袋  
「kin ぴょん」

桜の花びらの箸袋



## 奈良市立一条高等学校 吹奏楽部

6月16日



私が部長として活動してきた中で、特に記憶に残っていることは、ふれあいコンサートとキャンベラ親善演奏旅行です。ふれあいコンサートでは部員全員でチラシ配りをして、来てくださった、たくさんの地域の方々ととても楽しい時間を過ごすことができました。キャンベラ親善演奏旅行では、ホームステイや食事、コンサートなどを通して異国の空気にふれました。どちらもたくさんの感動を得ることができました。この感動や、支援をしていただいているということを忘れず、これからも全員で、全力で活動していきたいと思います。これからもよろしくお願いします。  
 (一条高校  
吹奏楽部 部長  
松田真保 記)



創部 60 周年を祝して訪問

## 和洋コラボユニット箏曲とギターの演奏

1月21日

**新年例会** 奈良公園を一望する例会場で新年会が行われ日本の伝統の上に新しい挑戦をされている「METIA」のメンバーである二十絃箏奏者 島崎晴美氏と、ギター演奏者、山本幸二氏による新春の演奏を楽しみました。



国際ソロブチミスト奈良-平城

2015.9.1 - 2016.8.31

## 2015年度・理事会メンバー

会長	植村 榮子	トレジャラー	上坂 弘子
会長エレクト	北浦萬里子	A.トレジャラー	岩井 宣子
副会長	田中眞千子	理 事	川本 陽子
セクレタリー	成田 當子	理 事	英保 昌子
C.セクレタリー	粉家 玉枝		

E-mail:info@nara-heijyo.net.worknara.com

## シグマソサエティ(大学生の奉仕グループ)

## 奈良女子大学 わかたけ会

## ○わかたけ会の主な活動

月に一度、軽度の障害を抱えた4歳から高校生まで子どもたち 10 人程度との交流会を実施し、様々な子どもと触れ合うことを通して、自分の視野を広げることを目的とした活動を行っています。その活動の準備のため、毎週月曜日のお昼休みにミーティングをしています。

## ○2016 年度の年間活動

5月 工作(カメラ、ぴょんぴょんかえる)／6月 お菓子作り(ホットケーキ、クッキー)／7月 鉄道博物館にて施設見学／8月 キャンプ／10月 八幡市障がい者スポーツ大会に参加／11月 ひらかたパーク／12月 クリスマス会／2月 お料理会。

毎月違ったことをしながら、年間を通して同じ子どもさんたちと交流するので、ゆっくり時間をかけて関係を深めることができる貴重な体験をさせていただいています。その子たちの親御さんともお話する機会が多く、子どもさんへの対応の仕方など、学生では気づかないことも的確に教えてくださるので、学生の視野も幅広くなっていると感じています。学生のためにも、今後とも長く続けていきたい活動です。

(部長 佐藤実於 記)



## 移動例会

5月19日



大阪 曽根崎の北瑞苑で5月移動例会が開催されました。

美味なるお料理を頂き、おしゃべりにも花が咲き、各々親睦を深め、楽しいひとときでした。

## ● 編集後記

アナログ人間の私にとっては広報委員長は重責でした。委員会メンバーには甚大なる支えを頂き、「和」の精神を痛感いたしました。

植村会長初め全会員の「輪」をもっての活動でこの一年を終える事が出来ました。

ありがとうございました。 広報委員長 山田 千恵